

1 鳥獣保護区制度の概要

鳥獣保護区は、鳥獣の保護の見地から「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」に基づき指定されます。鳥獣保護区は、環境大臣が指定する国指定鳥獣保護区と、都道府県知事が指定する都道府県指定鳥獣保護区の2種類があります。

環境大臣又は都道府県知事は、鳥獣保護区の区域内で鳥獣の保護またはその生息地の保護を図るため特に必要があると認める地域を特別保護地区に指定することができます。

鳥獣保護区内においては、狩猟が認められないほか、特別保護地区内においては、一定の開発行為が規制されます。

区分	制度の概要	規制の概要	存続期間
鳥獣保護区 (法第 28 条)	鳥獣の保護を図るため、必要があると認められる地域に指定するもの。	・ 狩猟が認められない。	20 年以内 (期間は更新可能)
特別保護地区 (法第 29 条)	鳥獣保護区内の区域内において、鳥獣の保護およびその生息地の保護を図るため、必要があると認められる地域に指定するもの	【要許可行為】 ・ 工作物の新築等 ・ 水面の埋立、干拓 ・ 木竹の伐採 ※1ha 以下の埋立、干拓や住宅の設置など鳥獣の保護に支障がない行為として政令に定める不要許可行為がある。	鳥獣保護区の存続期間の範囲内

なお、滋賀県では、現在、鳥獣保護区を 45 箇所、同特別保護地区を 14 箇所指定しています。

2 指定（再指定）する特別保護地区の概要

（1）荒神山鳥獣保護区

所在地	滋賀県彦根市
面積	25ha
位置図	別添のとおり
指定目的	荒神山鳥獣保護区は、彦根市南西部に位置し、琵琶湖国定公園内の荒神山を中心とした区域であり、曾根沼、水田、河川などの多様な環境が存在しており、オオタカ、ノスリ、アオバト、ホトトギス、ヤブサメ、オオルリ、メボソムシクイ、ルリビタキ、コサメビタキ、キクイタダキ、トラツグミ、ベニマシコ、ウソ、オオアカゲラ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、イカルチドリ、オオヨシキリ、ミソサザイ、イソシギ、クサシギなどの希少な種を含む多様な鳥類の生息が確認されるなど鳥獣の生息地として重要な役割を果たしている。鳥獣保護区の中でも、特別保護地区の区域は荒神山の山頂を含んでおり、森林鳥獣にとって良好な生息環境となっている重要な区域であると認められることから、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第 29 条第 1 項に規定する特別保護地区に指定し、当該地域に生息する鳥獣およびその生息地の保護を図るものである。
再指定期間	令和 5 年 11 月 1 日から令和 15 年 10 月 31 日まで

（2）野鳥の森鳥獣保護区

所在地	滋賀県多賀町
面積	22ha
位置図	別添のとおり
指定目的	野鳥の森鳥獣保護区は、サシバ、ツツドリ、ホトトギス、オオルリ、ヤブサメなどの希少な種を含む森林性鳥類を中心とした多様な鳥類の生息が確認されるなど鳥獣の生息地として重要な役割を果たしている。鳥獣保護区の中でも、特別保護地区の区域には遊歩道が整備されたダムが存在し、森林生態系の中における水辺として、カイツブリ、ヨシガモなどの希少な種を含む水鳥の生息地であるとともに、人と自然とのふれあいの場として、特に重要な役割を果たしていると認められることから、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第 29 条第 1 項に規定する特別保護地区に指定し、当該地域に生息する鳥獣およびその生息地の保護を図るものである。
再指定期間	令和 5 年 11 月 1 日から令和 15 年 10 月 31 日まで

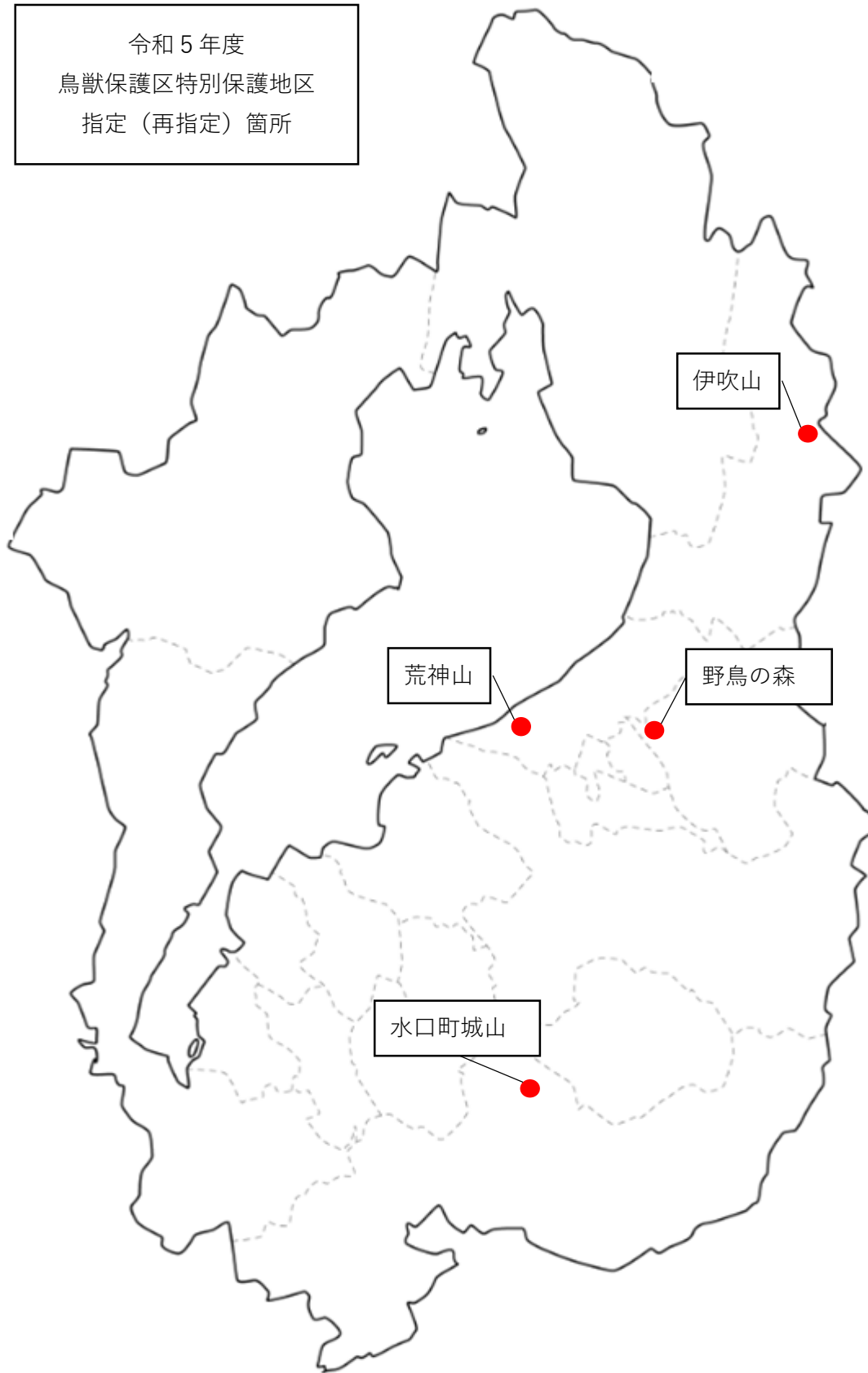
(3) 伊吹山鳥獣保護区

所在地	滋賀県米原市
面積	24ha
位置図	別添のとおり
指定目的	伊吹山鳥獣保護区は、滋賀県と岐阜県の境にある伊吹山の琵琶湖国定公園内に位置し、山地草原、自然林、二次林、植林地など植生の変化に富む地域であり、イヌワシ、ハイタカ、オオタカ、ツミ、チョウゲンボウ、カッコウ、ジュウイチ、ホトトギス、ツツドリ、オオルリ、ルリビタキ、マミジロ、オオアカゲラ、カヤクグリ、メボソムシクイ、ニホンカモシカなどの希少な種を含む、多様な鳥類をはじめとした森林鳥獣が確認され、鳥獣の生息地として重要な役割を果たしている。鳥獣保護区の中でも、特別保護地区の区域は山地草原として重要な区域であり、森林鳥獣にとって良好な生息環境となっていることから、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第 29 条第 1 項に規定する特別保護地区に指定し、当該地域に生息する鳥獣およびその生息地の保護を図るものである。
再指定期間	令和 5 年 11 月 1 日から令和 15 年 10 月 31 日まで

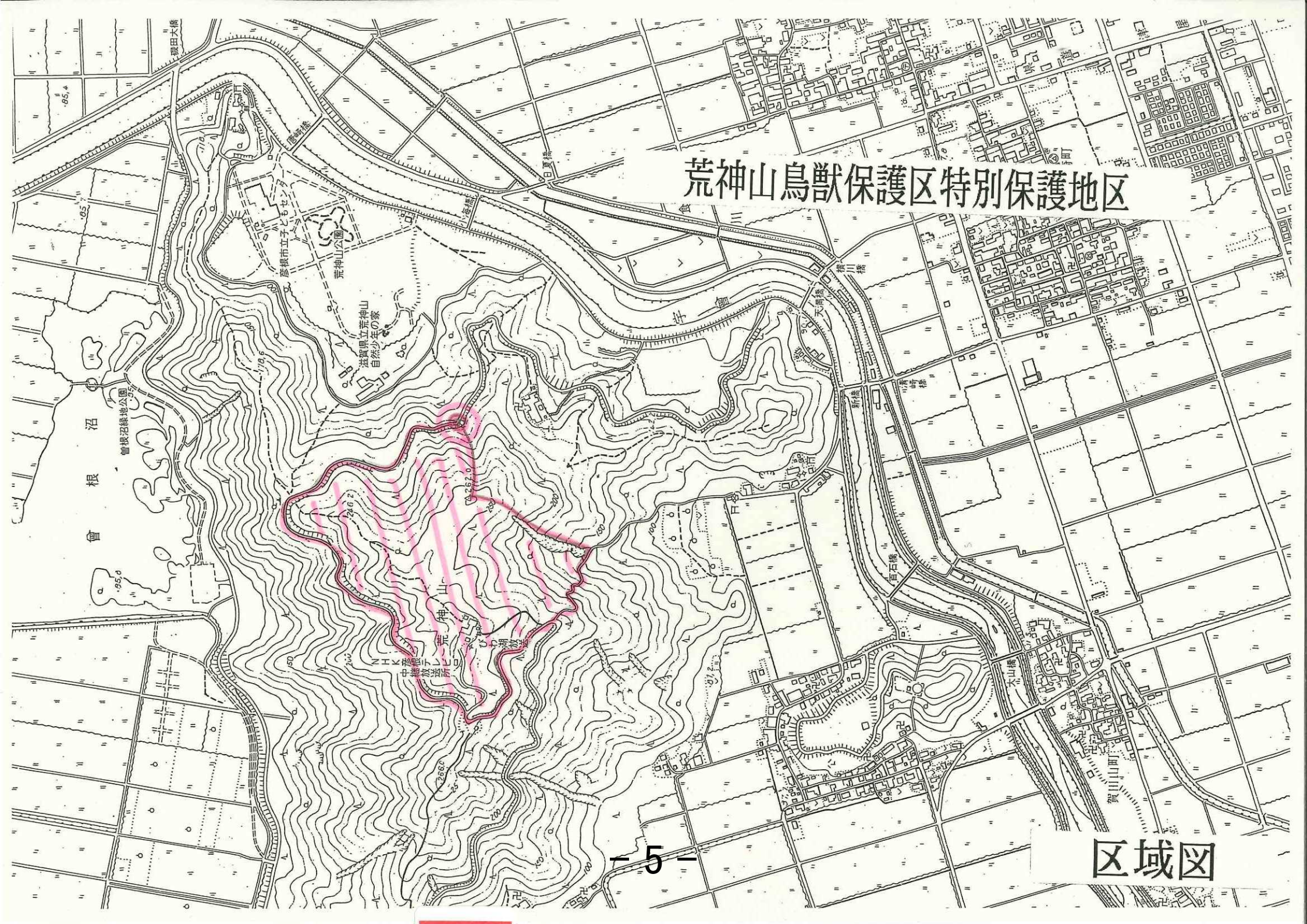
(4) 水口町城山鳥獣保護区

所在地	滋賀県甲賀市
面積	27ha
位置図	別添のとおり
指定目的	水口町城山鳥獣保護区には、森林、水田、河川、ため池などの多様な環境がモザイク状に存在しており、ノスリ、ハイタカ、カイツブリ、ゴイサギ、チュウサギ、カワアイサ、ヨシガモ、ホシハジロ、ミコアイサ、イカルチドリ、カワセミ、ホトトギス、キビタキ、ルリビタキ、イソシギ、ヒクイナ、クサシギ、タシギ、ベニマシコ、ニューナイスズメなどの希少な種を含む多様な鳥類の生息が確認され、鳥獣の生息地として重要な役割を果たしている。鳥獣保護区の中でも、特別保護地区の区域は安土桃山時代に築城された岡山城跡が存在し、人と自然とのふれあい活動の場となっているとともに、鳥獣保護区内における中心的な森林環境となっており、特に重要な役割を果たしていると認められることから、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第 29 条第 1 項に規定する特別保護地区に指定し、当該地域に生息する鳥獣およびその生息地の保護を図るものである。
再指定期間	令和 5 年 11 月 1 日から令和 15 年 10 月 31 日まで

令和5年度
鳥獣保護区特別保護地区
指定（再指定）箇所

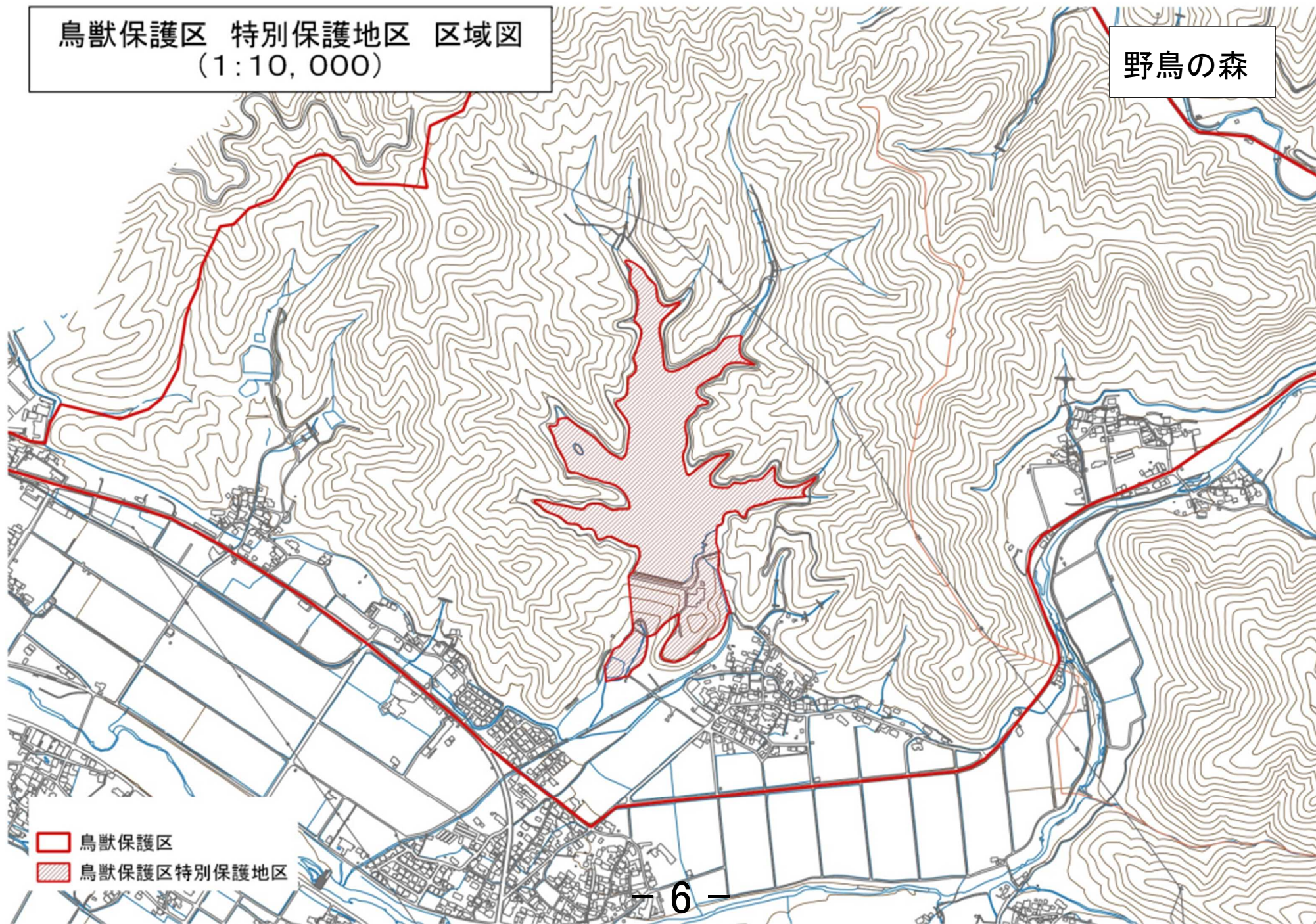


荒神山鳥獣保護区特別保護地区



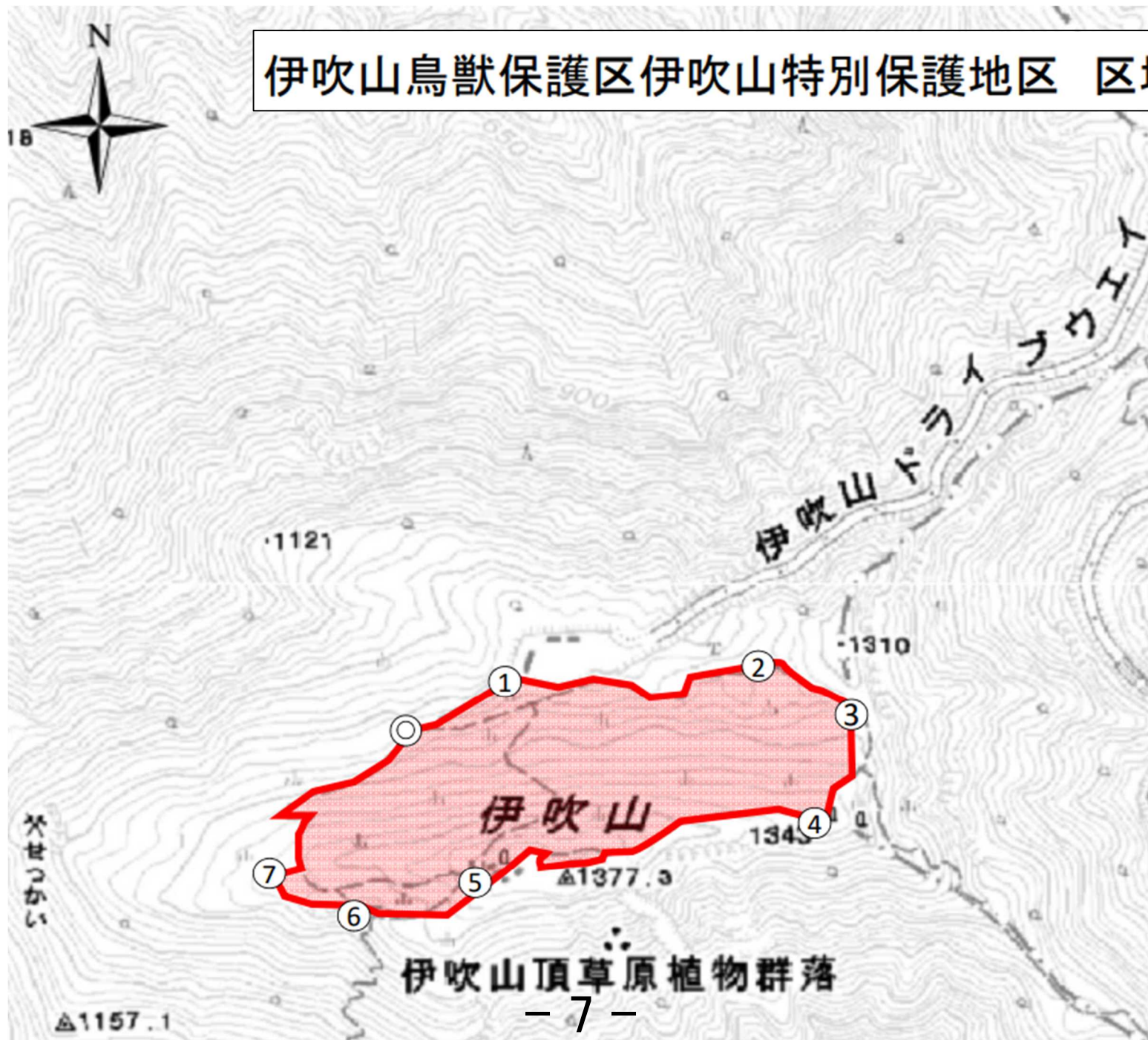
鳥獣保護区 特別保護地区 区域図
(1:10,000)

野鳥の森



- 鳥獣保護区
- 鳥獣保護区特別保護地区

伊吹山鳥獣保護区伊吹山特別保護地区 区域図



水口町城山鳥獣保護区水口町城山特別保護地区

